

報道関係各位

2021年2月24日

新製品発売のお知らせ**モリタ「モリタオリジナルキャビン Intelligent Attacker」をモデルチェンジし第1号車を納入
「地域を守るヒーローを手助けするマシン」をイメージしたデザインを採用**

株式会社モリタホールディングス

当社の連結子会社である株式会社モリタ(本社:兵庫・東京、代表取締役:尾形和美)は、デザイン性・安全性・機能性を高次元で融合した「モリタオリジナルキャビン Intelligent Attacker(インテリジェントアタッカー)」をモデルチェンジし、第1号車を2021年2月24日(水)に、福岡県春日・大野城・那珂川消防組合消防本部に納入しました。



デザインは、「地域を守るヒーローである消防隊員を手助けするマシン」をイメージしました。モリタオリジナルハイルーフキャビンの Red Armor(レッドアーマー)の意匠を継承しつつ、ハイルーフフレームを新たに取っ替え、キャビン内の室内空間を飛躍的に拡大。車両部分の架装部分と一体感のあるワンモーションシルエットを採用し、モダンで力強い外観デザインを実現しました。

安全性については、キャビン後部の片側4ヵ所に窓ガラスエリアを配置することで、車内からの視認性が確保され、後席隊員からも安全確認がしやすくなりました。後席の窓はスモークガラス仕様にする事で外から車内が見えにくいよう配慮しています。

機能性については、災害現場に向かう隊員の乗降性をさらに向上させるため、展開式昇降ステップを採用しています。また、Red Armor(レッドアーマー)を超える広い室内空間を実現するため、ダブルキャブ車の後席部分を延長し、クラス最大級の後席スペースを確保しました。さらに、後席は、ヘルメットなどの装備品を装着した隊員に配慮し、室内高1,880mmを確保しております。キャビン内のレイアウトは、収納量を優先した標準棚タイプと前席・後席を行き来できるウォークスルータイプの2タイプから選択できます。

モリタオリジナルキャビン Intelligent Attacker(インテリジェントアタッカー)は、救助工作車だけでなく、水槽車など多機種展開が可能です。

■特徴

《室内空間を大幅に拡大》



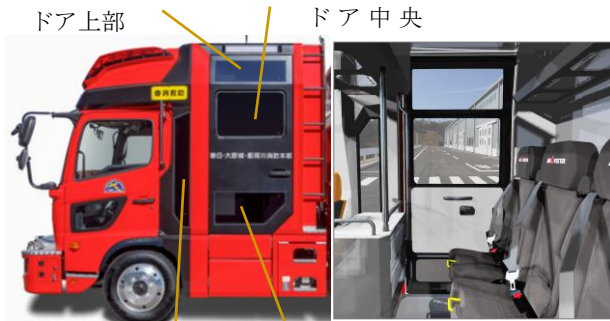
ハイルーフフレームを取り入れ、室内空間を拡大。
一体感のあるワンモーションシルエットも採用。

《後席室内高》



ヘルメット着用時でも十分な高さを確保。

《キャビン大型窓》



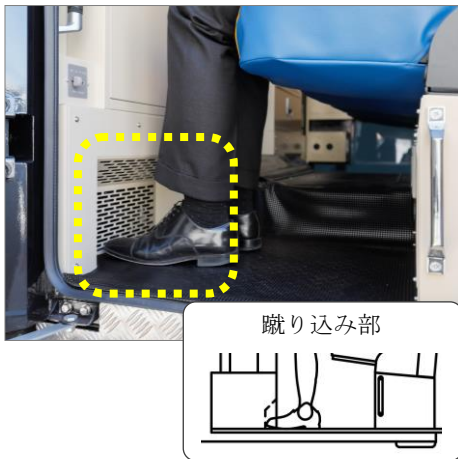
後席隊員の視界を確保し、開放感と安全管理を実現。

《後席昇降ステップ》



後部ドア開閉に連動して展開。重装備でも安全に乗降可能。

《後席足元スペース》



つま先部にえぐりを設けスペースを確保し、
着座時の快適性を確保。

■多機種展開



水槽車



救助工作車

■車両寸法：全長 約 8,180mm×全幅 約 2,380mm×全高 約 3,200mm

■目標販売台数：10 台/年間

本件に関するお問合せ先
株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:石橋 TEL:03-6400-3485